



名品

珍品

世界で  
3点だけ残る  
貴重な像

当館の広報大使に就任!

《青銅鍍金銀 羽人》  
中国・後漢時代

# 「What's new」

という言葉には、久しぶりに会った相手に「お変わりはありませんか」と軽く近況を尋ねる挨拶と、「最新情報／新着情報」の2つの意味があります。この展覧会名には、約2年5か月に及ぶ休館期間を経て久しぶりにお目にかかる皆様へ、親しみを込めたご挨拶と、リニューアルした最新の姿をお披露目するという2つの意味を込めました。

昭和11年(1936)に開館して以来、充実が図られ続けている大阪市立美術館の所蔵品は、日本・東洋美術を中心に現在約8700件にのぼります。本展では、館内の全フロアを特別展会場とし、絵画や書蹟、彫刻、工芸など、分野ごとに重要文化財6件を含む選りすぐりの作品200件超を一堂に展覧します。当館を代表する名品たちに加え、これまであまりご紹介する機会がなかった「珍品」ともいえる作品も織り交ぜ、大阪市立美術館の「変わらぬ魅力と新たな魅力」をお伝えします。大阪市立美術館や作品たちとの再会と新たな出会いをお楽しみください。



3m 超えの  
超巨大作!

謝時臣(款)《巫峡雲濤図》(左)、  
《湖堤春曉図》(右)  
中国・明~清時代



東洲斎写楽  
《三代目市川八百蔵の田辺文蔵》  
江戸時代・寛政6年(1794)



教科書でも  
おなじみの  
浮世絵師・写楽

本物のアワビを使った  
ユニークな酒杯



《養亀蒔絵杯》  
江戸~明治時代



墨の濃淡で  
空間を描きだした  
等伯の傑作



長谷川等伯《鳥臈図屏風》  
桃山時代・慶長12年(1607)



技巧が光る!  
コレクターを  
魅了した優美さ



重要文化財《銅 湯瓶》  
鎌倉時代

## ● イベント情報

各イベントの詳細や申込方法は、当館ホームページをご確認ください。  
いずれも参加費無料 ※ただし、当日の特別展観覧料が必要

### リニューアルオープン記念講演会 「大阪市立美術館の近未来像」

内藤 栄 (大阪市立美術館 館長)  
3月8日(土) 10:30~11:30 (受付開始 10:00)  
定員: 100名 / 事前申込制

### 学芸員リレー講座

3月9日(日)、15日(土)、16日(日)、23日(日)、29日(土)  
各日14:00~15:00 (受付開始 13:30)  
定員: 50名 / 申込不要

### ファミリーデー 3月22日(土) 終日

ファミリーデーは、お子様とご家族が美術について会話しながら鑑賞する特別な日です。  
皆様のご理解をお願い申し上げます。なお、3月22日は通常通り開館しています。

## ◎ 観覧料(税込): 一般1,800円(1,600円) / 高大生1,200円(1,000円)

※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料(要証明)。  
※本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。※( )内は、前売及び20名以上の団体料金。  
※前売券の販売は、2025年1月15日(水)~2月28日(金)まで。

### ● あべのハルカス美術館との相互割引

本展観覧券(半券可)の提示で、あべのハルカス美術館「生誕140年 YUMEJI展 大正浪漫と新しい世界」[2025年1月18日(土)~3月16日(日)]の当日券を100円引きでご購入いただけます。  
(1枚につきお一人様1回限り有効。他の割引券との併用不可)

### ● チケットの主な販売場所

公式オンラインチケット(当館ホームページ内)、チケットぴあ(Pコード:687-029)、ローソンチケット(Lコード:52389)、セブンチケット(セブンコード:107-252) 他



◎ アクセス JR・Osaka Metro天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅  
下車、北西へ約400m

# 大阪市立美術館

## Osaka City Museum of Fine Arts

〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82  
[天王寺公園内] Tel:06-4301-7285  
(大阪市総合コールセンターなにわコール  
年中無休: 8:00~21:00)  
<https://www.osaka-art-museum.jp/>



展覧会公式サイト